

# 西宮市議会で

議会の自殺行為  
とんでもない!

## 議員の発言を制限する動き



9月議会上程された子ども子育て支援新制度関連3議案に、党市議団の野口市議が本会議で、その問題点等について質疑したことをとらえて

### 市民の声を代弁するのが議員の役割

西宮市議会に設置されている「議会改革特別委員会」で、議員が本会議で発言することに制限を加えようとする動き

が出ています。こんなことを許せば、「言論の府」としての議会の自殺行為になりかねません。

のこと。

来々年4月より、保育所や幼稚園、学童保育所等々の認可基準など各種基準を、国が示す政省令に基づきながら市が条例で定める内容をより良い

### 発言しないことを「良し」とするおかしなこと

どうせ委員会で審議するから本会議質疑は不要とか、質疑が長引けば議会日程が延期になる恐れが…などと制限する理由をあげますが、基本は

ものに・・・という観点から行った質疑。これは、市民の負託を受け議会に送られた者として当然のこと。委員会では修正案も提案しました。

本会議主義であり、「質疑」延長で日程変更の実績なし。それより、発言しないことを「良し」とする風潮こそ、議会人としての任務放棄では？



# 日本共産党

# 上田さち子です



2014. 10. 26 号

(発行)

日本共産党市会議員  
上田さち子  
川添町五・十八  
電・三五二八・三

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

## 2 女性閣僚が辞任！ 首のすげ替えだけでいいの？ 安倍さん

うちわや  
観劇等で「公  
職選挙法違  
反」の疑い  
で、小淵優子  
氏と松島みど



り氏が20日、いずれも大臣を辞任しました。有権者に利益供与を行ったという点で、当然のこと。

同日安倍首相は、新たな後任の閣僚人事を発表し、幕引きを図ろうと必死です。

日本共産党は山下よしき書記局長が記者会見を行い、「事の真相は全く不明。国会の場で真相究明は不可欠」と、政治と金の問題で追及を行うことを表明しました。

女性が輝く社会を・・・との触れ込みで、5人の女性閣僚を誕生させては見たものの、二人は辞任、残る3人は靖国神社参拝を強行した方々。いったい何が輝くのでしょうか？安心して働けるよう産休や育休の保障とともに、保育所整備等は喫緊の課題。これらを後回しにして、給料も男性の半分では、輝いている暇は女性にはありませんよ、安倍さん。

市議団の市民アンケートでも50%の市民が「国保料を引き下げて」と答えておられます。自営業の方や会社をリタイアした方、無職の方など、いわゆる社会的弱者が加入している医療保険が国民健康保険です。2007年度までは兵庫県下で一番高い保険料でしたが、党市議団と市民のみなさんの大運動を行った結果、市の一般財源から国保特別会計に2億5000万円の繰り入

れを行い保険料引き下げに。さらに、2012年度からは繰入額を10億円にしてさらなる引き下げを行っています。しかし、それでも高くて払えない・・・と市民の声。

# まだまだ高い国民健康保険料 1世帯1万円の引き下げを

医療費が  
高くて困  
る！



## 20億円の基金あり

日本共産党市議団は、1世帯当たり1万円の保険料引き下げを提案しています。

そのためには約6億円の財源が必要ですが、国保特別会計の「財政安定化基金」の約20億円の一部を活用すれば十分可能です。

医療の改善が国によってもめられています。国保料の引き下げは西宮市の決断で実行できるのです。